

検討方法

- 資料 7 の主な検討事項、各構成員のご意見及び検討を進める中で検討が必要となった事項について、実態調査結果及びこれまでの災害事例等における教訓や課題、検証結果などを踏まえ、これに対応した取組や新たな技術・手法に関する調査・研究を行う。
- これらの調査・研究結果に基づき、要救助者をより安全・確実・迅速に救助するための手法や日頃の実戦的な教育訓練、関係機関との効果的な連携などについて検討会で検討行うとともに、この検討結果を踏まえ、「土砂災害時における消防機関の救助活動要領」の充実及び見える化を目指す。

スケジュール(案)

- 第 1 回【 7 月 31 日】：実態調査結果、近年の土砂災害、土砂災害対応の課題、検討の進め方等
- 第 2 回【 9 月下旬】：検討課題の検討、個別検証※内容の検討
- 第 3 回【 11 月下旬】：マニュアル改正骨子（案）の検討、個別検証結果、資機材の活用、教育・訓練検討
- 第 4 回【 2 月上旬】：マニュアル改正（案）の検討

※ 個別検証については次頁参照

検討会における技術的検証について

検討会における技術的な検証について、事務局にそれぞれの検証項目における先進的な取組を実施している消防機関や専門家等からなる「個別検証チーム」を検証項目ごとに設置する。検証内容等は、検討会構成員の意見を反映し、検証内容により構成員の協力を得て検証・実証を行い、救助活動要領の充実及び見える化を図る。

検証項目（案）

- 重機の運用技術（基本操作、訓練方法、活動可能な状況等）
- 泥濘地の救助技術（掘削方法、人員・ローテーション、訓練方法等）
- 土砂内の木造建物救助技術（搜索手法、破壊方法等）

個別検証のスケジュール（案）

